

◇相互連携協定を締結
名古屋科学館と愛知教育大は22日、人的・知的資源の交流や社会貢献、学生の資質向上を目的とした相互連携協定を締結した。

協定書では、科学館の展示物を利用した大学の授業、教材、プラネタリウム映像などの共同開発や、愛教大の学生が科学館でポランティアや研究活動をするなどが盛り込まれた。

これまでも科学館で両者の連携講座が開かれたり、愛教大の授業でプラネタリウム観覧が使われたりするなどの交流があり、協定締結へ発展した。

◇リニア・鉄道館で交通安全PR
一年前から県内で交通死亡事故が続く中、港署は26日、交通安全を訴えるイベントを港区金城ふ頭3のりニア・鉄道館で実施した。

2020年東レキャンペーンガールのアイリス・ウィーンさんが一日署長、同館職員の前田陽弘さんが一日署員に。来場した家族連れらに反射材などの啓発用グッズやチラシを配り、事故防止をPRした。写真、県警音楽隊の演奏などもあった。



イベントのセレモニーで

富永嘉幹・港署長は「交通事故は被害者の家族が悲しむだけでなく加害者も一生、後悔する」と事故の悲惨さを訴えた。愛知県は昨年、17年ぶりに交通事故の死者数が全国ワーストを脱したが、今年に入って死亡事故が多発している。

◇防犯カメラを設置
名古屋城北ライオンズクラブ(LC)が北区内に防犯カメラ20台を設置し、28日に北署で贈呈式があった。L



Cが今年で45周年を迎えることを記念した事業の一環で、地元住民らの協力によって、学路や交差点などに設けた。式典で北署や北区などから感謝状を受け取った浅田良孝会長。写真左は「多くの人の支えで設置できた。住民の安心安全や犯人の逮捕につながれば」と話した。北署の後藤安彦署長。同左は「多くの事件で防犯カメラを使った捜査をしている。引き続き支援をお願いします」とあいさつした。